請求の範囲

[請求項1] 炊飯または蒸米の前から後の間のいずれかの時点で、多価陽イオン含有液を米と接触させる工程と、

多価陽イオンを含む炊飯または蒸米後の米にアルギン酸塩含有液を接触させる工程とを含むことを特徴とする米飯類の品質保持方法。

[請求項2] 浸漬時および／または炊飯時に多価陽イオン含有液を米と接触させる請求項１に記載の品質保持方法。

[請求項3] 前記多価陽イオン含有液が、水難溶性の金属塩であって、ｐＨ６．５以下で多価陽イオンを形成する金属塩を含むものであり、

前記多価陽イオン含有液を、ｐＨが６．５以下である炊飯または蒸米後の米と接触させる請求項１に記載の品質保持方法。

[請求項4] 前記多価陽イオン含有液と、前記アルギン酸塩含有液とが１つの液である請求項３に記載の品質保持方法。

[請求項5] 生米１００質量部に対して、多価陽イオンの量が０．０１質量部以上であり、アルギン酸塩の量が０．０１質量部以上である請求項１～４のいずれかに記載の品質保持方法。

[請求項6] 炊飯または蒸米後の米１００質量部に対して、アルギン酸塩含有液を１～５０質量部の量で接触させる請求項１～５のいずれかに記載の品質保持方法。

[請求項7] アルギン酸塩含有液におけるアルギン酸塩の濃度が０．０５～５質量％である請求項１～６のいずれかに記載の品質保持方法。

[請求項8] 炊飯または蒸米の前から後の間のいずれかの時点で、多価陽イオン含有液を米と接触させる工程と、

多価陽イオンを含む炊飯または蒸米後の米にアルギン酸塩含有液を接触させる工程とを含むことを特徴とする米飯類の製造方法。

[請求項9] 浸漬時および／または炊飯時に多価陽イオン含有液を米と接触させる請求項８に記載の製造方法。

[請求項10] 前記多価陽イオン含有液が、水難溶性の金属塩であって、ｐＨ６．

５以下で多価陽イオンを形成する金属塩を含むものであり、

前記多価陽イオン含有液を、ｐＨが６．５以下である炊飯または蒸米後の米と接触させる請求項８に記載の製造方法。

[請求項11] 前記多価陽イオン含有液と、前記アルギン酸塩含有液とが１つの液である請求項１０に記載の製造方法。

[請求項12] 生米１００質量部に対して、多価陽イオンの量が０．０１質量部以上であり、アルギン酸塩の量が０．０１質量部以上である請求項８～１１のいずれかに記載の製造方法。

[請求項13] 炊飯または蒸米後の米１００質量部に対して、アルギン酸塩含有液を１～５０質量部の量で接触させる請求項８～１２のいずれかに記載の製造方法。

[請求項14] アルギン酸塩含有液におけるアルギン酸塩の濃度が０．０５～５質量％である請求項８～１３のいずれかに記載の製造方法。